

公益財団法人日本文学振興会

平成 27 年度事業報告書

1. 平成 27 年 4 月 7 日（火）午後 3 時より、日本外国特派員協会にて第 46 回大宅壮一ノンフィクション賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。

書籍部門

須田桃子『捏造の科学者』（文藝春秋刊）

雑誌部門

安田浩一「ルポ 外国人『隷属』労働者」（G 2 vol.17）

その贈呈式および披露宴は 6 月 19 日（金）午後 6 時より日本外国特派員協会にて開催、受賞者に正賞 1 0 0 万円を贈呈した。

2. 平成 27 年 4 月 21 日（木）午後 5 時より、パレスホテルにて第 22 回松本清張賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。

額賀滯「ウインドノーツ」

その贈呈式および披露宴は 7 月 3 日（金）午後 6 時よりパレスホテルにて開催、受賞者に正賞時計、副賞 5 0 0 万円を贈呈した。

3. 平成 27 年 7 月 16 日（木）午後 5 時より、築地「新喜楽」にて第 153 回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 羽田圭介「スクラップ・アンド・ビルド」（文學界三月号）

又吉直樹「火花」（文學界二月号）

直木賞 東山彰良「流」（講談社）

その贈呈式および披露宴は 8 月 21 日（金）午後 6 時より帝国ホテル孔雀の間にて開催、受賞者に正賞時計、副賞 1 0 0 万円を贈呈した。

4. 平成 27 年 10 月 7 日（水）午後 6 時より、築地「新喜楽」にて第 63 回菊池寛賞選考顧問会を開き、下記の五件の受賞を決定した。

① 半藤一利

『日本のいちばん長い日』をはじめ、昭和史の当事者に直接取材し、常に「戦争の真実」を追究、数々の優れた歴史ノンフィクションによって読者を啓蒙してきた

② 吉永小百合

長年にわたる女優としての活躍はもちろん、広島、長崎の原爆詩の朗読会を三十年にわたって続けており、東日本大震災についても被災者の詩の朗読を通して復興支援に尽くしてきた

③ NHKスペシャル「カラーでよみがえる東京」

「カラーでみる太平洋戦争」

歴史的に貴重なモノクロ映像を国内外で収集し、徹底的な時代考証を行ったうえで、最新のデジタル技術を駆使してカラー化に成功。鮮明に蘇った映像は、視聴者に近現代史を体感させた

④ 本の雑誌

従来 of 書評誌になかったエンタテインメント中心の書評、ユニークな特集、個性的な執筆陣などで日本の出版文化に独自の存在感をアピール。本年度で創刊四十周年を迎えた

⑤ 国枝慎吾

車いすテニスのシングルスで五度の年間グランドスラム、パラリンピック二連覇など輝かしい実績を挙げたことに加え、いち早くプロに転向しての活躍は、障害者スポーツに関わる人々に夢を与えた

その贈呈式および披露宴は12月4日（金）午後5時よりホテルニューオータニ ザ・メイン「鶴の間」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。

5. 平成28年1月19日（火）午後5時より、築地「新喜楽」にて第154回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 滝口悠生「死んでいない者」（文學界十二月号）

本谷有希子「異類婚姻譚」（群像十一月号）

直木賞 青山文平「つまをめとらば」（文藝春秋）

その贈呈式および披露宴は平成28年2月25日(木)午後6時より帝国ホテル孔雀の間にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。